

## 価値共創研究員

Kii-Plusでは、地域課題を持ち込み、共創でプロジェクトを進める価値共創研究員を、自治体・企業・市民団体等から受け入れています。

価値共創研究員は、地域課題や地域ニーズについて、大学における成果や知見の提供を受けて具体的なプロジェクト等を展開するとともに、その成果や技術を社会実装しながら地域課題の解決やイノベーションの創出につなげて進めていきます。またプロジェクト等を進める過程や大学内での人的交流を通じて新しい人脈を構築すること、柔軟な発想方法と幅広い視点・視野を習得することで、地域と大学をつなぐ共創人材として、地域を支える人材として育成していくことを目的としています。

現在は、マイクロツーリズムの振興、和歌山市観光協会との連携、日本遺産「葛城修験」の振興などに従事しています。

2020年度は価値共創研究員として、コロナ禍での観光振興施策としての「マイクロツーリズム」を推進するため、ご近所観光手引書「ちかばめぐり」を製作しました。

大学ではアンケートの制作手法や統計を学ぶことができただけでなく、大学内や他自治体の方と知り合うことができ、業務に役立つ知識が身についたとともに、価値観が広がったと思います。



高崎 慎太郎  
(和歌山市 観光課)



### 2020年度 価値共創研究員



南出 考

(和歌山県社会福祉協議会)

※2021年度・2022年度も継続



普段は、広域での地域福祉の充実をめざした活動を行っています。2008年に災害ボランティアセンターを常設し、ボランティアやコーディネートを担う人材の重要性や価値を伝えていきます。2020年度から価値共創研究員として、学生災害ボランティアステーション“むすぼら”の開設・運営にあたり、経験知や支援プログラム等をご提供しています。“むすぼら”には心強い仲間とのつながりが芽生えてきたようにお見受けします。「平時から災害にどう備えていくかを考え、何かを一緒にやる」という機会を大切に、災害時にも助け合おうねというマインド「心」が大学内に、そして地域に広がるよう努力しようと思います。

現在は、日本版DMO法人である紀の川フルーツ観光局に関わり、フルーツのまち紀の川市にたくさんの方が訪れてもらえるよう取り組んでいます。今回行ったDMOに関する研究を通じ、県内DMOの方々とのつながりができたことはもちろん、教授に指導頂きながらSWOT/クロス分析による戦略策定等を学べたこと、そして大学との関係性が築けたことなど、数多くの収穫がありました。これからも地域の課題解決の相談をしにKii-Plusに伺いたいです。

2018年度に現課へ配属となり、地域資源の保存・活用やイベントの実施・支援等、主に観光業務に従事しています。コロナ禍は想像以上に長期化し、多様な関係者と対話しながらの共創が非常にやりにくい時期でしたが、そのような状況下でも、「観光・葛城修験」等のテーマで、関係者の皆さまと地域の価値共創に向けた一歩を踏み出し、新しい人脈を構築できたこの貴重な経験に感謝し、今後も泉佐野市の発展に活かして参りたいと思います。

2021年度 価値共創研究員



南條 青志

(紀の川市 観光振興課)

出島 正喜

(南海電気鉄道株式会社南海電鉄グループ 和歌山事務所)

※2022年度も継続

林 久登

(泉佐野市 まちの活性課)

2019年5月末に現在の部署に配属され、和歌山の地域資源を発掘したイベントを担当しています。歴史的建造物等の歴史的価値や保存がいかに大変かということを皆さまに認知していただくことが大事だと思っています。今回、社外の方と「葛城修験」をテーマとした観光資源の創造に参画できたことは、人のつながりから新しい地域資源の発掘に発展していく機会になったことに感謝し、更にも多くの人と出会い新しい企画を作っていきたいと思っています。

2022年度は新たに海南市都市整備課から価値共創研究員を迎え、防災公園をテーマに研究していきます。



2022年度 価値共創研究員



宇尾 崇俊

(海南市 都市整備課)